





## 街を行く

第**98** □ 豊洲 Toyosu

## "粋さ"が欲しいですね

いま東京の注目スポットと聞かれれば、 何といっても「豊洲市場」です。新橋駅 からゆりかもめに乗り、お台場、有明 を過ぎた「市場前」が最寄り駅。駅前 は市場関係者と外国人観光客でごった 返しています。かつての築地市場がそ うだったように、彼らの周遊観光コー スに組み込まれているからでしょう。築 地と大きく違うのは交通アクセスです。 卸売市場は本来、関係者の使い勝手 に支障がなければ良いはずですが、観 光産業化した今はそんな訳にいきませ ん。とはいえ「交通の便が良い場所に 広大な敷地があるのか」という話もあ

小生は豊洲市場をみると「築地のまま が良かった」と思ってしまいます。コト を蒸し返すつもりはなく、都市開発と しての無計画さを嘆いているわけです。 つまり、「ここは将来的に周辺が開発 され街らしくなってくるのか」がイメージ しにくいのです。そして、築地では感じ られた「東京の風情が再び味わえるの かしもピンとこないのです。館内の見学 はすぐ終わってしまいますし、市場なら ではの海鮮レストランの数も少ないで す。小生が期待していたテーマパーク的 要素は何一つありませんでした。早晩、 話題性が収まり、観光用途としての役 目を終え市場本来の機能を粛々と果た していくのでしょう。

なんだか批判的なことをお話してしま いましたが、それだけ市場の"テーマ パーク性"に期待していたのです。これ ぞ"日本の台所"と思わせる市場の雰 囲気を味わせてくれるのかと、ウキウキ しながら行ったものですから。





豊洲新市場。"ハコ"としての機能だけでなく、都市としての役割も考えてもらいたいもの

これからの"ハコづくり"は使う人のこ とばかりではなく、それを観に来る人 のことも考えなくてはなりません。つま り、自己満足だけでは新しいマーケット を乗り切れないのです。

箱も商品です。中身だけでなく、見た 目も絶対に必要なのです。ハコの一つ 一つがテーマパークでなくてはなりませ ん。ましてや人の関心を呼びやすい大 きなハコならば当たり前です。これか ら、オリンピック、万博とイベントが続 きます。人の興味が"炎上"する開催期 間中は良いとして、その後どう人に関心 を維持してもらえるかが大事です。人を 寄せる役目を終えたらすぐ用途変更す るのではなく、初めからテーマパークと してつくり、後々まで有効利用したら良 いではないですか。

## 南 一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入 社。ローンスター・ジャパン・アクイジショ ンズを経て、2001年エートス・ジャパン・エ ルエルシーを設立。同代表に就任。2005年 4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締 役に就任。2006年ジャパン・アセット・ア ドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。